

# よく出る質問(FAQ)

## 全般的な質問

Q1. **国際言語文化科目**を選択した場合、2年次の終わりまでに18単位全部を履修しなければなりませんか？

A. いいえ。皆さんのそれぞれの事情に合わせて履修できます。卒業までに指定された18単位を修得してください。

Q2. 中級外国語科目（英語、第2外国語）には、**国際言語文化科目**を選択した学生だけで構成されるクラスがあるのでしょうか？

A. いいえ。**中級外国語（英語、第2外国語）のクラスは、基礎共通科目を選んだ学生も受講できます。**ただし、クラスの登録においては、国際言語文化科目を選択した学生が優先的に登録される仕組みになっているので、国際言語文化科目を選択すると、希望する中級外国語クラスを登録できる確率が高くなります。

Q3. **基礎共通科目**を選択した場合、中級外国語や上級外国語の授業を受けても、卒業に必要な単位としては認められないのでしょうか？

A. 学部によります。**基礎共通科目**のコースの人が、中級・上級外国語を修得した場合は、学部の「**専門教育科目**」の単位として扱われます。中級・上級外国語科目の何単位までが、専門教育科目として認められるかは、学部・学科によって異なります。履修要項で確認してください。

**\*分かりやすい学部別の一覧表**を最後のページに提示しますので、参考にしてください。

Q4: **教職**を目指しています。**国際言語文化科目**を選択したいのですが、教職を取るためには、**基礎共通科目**にある一部の科目の履修が必要です。履修できますか？

A. もちろん、履修できます。**国際言語文化科目**を選択しても**基礎共通科目**は履修できます。したがって、基礎共通科目にある「日本国憲法」（2単位）、「人権（同和）の問題」（2単位）、「哲学」（2単位）または「倫理学」（2単位）を履修できます。他コース科目の登録として特別な手続きが必要となる場合がありますので、履修ガイドブック2021の33ページを確認してください。

**公認心理師**の受験資格を得るために必要な科目で、基礎共通科目の枠内で開講されている科目（「感情・人格心理学」（2単位）、「人体の構造と機能及び疾病」（2単位））も履修可能です。

Q5. **国際言語文化科目** 18単位をすべて修得した後、自分の選んだコース以外の中級外国語、あるいは、3年になって上級外国語を履修しても、卒業に必要な単位としては換算されないのでしょうか？

A. 国際言語文化科目の18単位を修得した後、さらに自分の選んだコース以外の中級・上級外国語を修得した場合は、学部の「**専門教育科目**」の単位として扱われます。中級・上級外国語科目の何単位までが、専門教育科目として認められるかは、学部・学科によって異なります。履修要項で確認してください。

**\* 分かりやすい学部別の一覧表**を最後のページに提示しますので、参考にしてください。

Q6. **国際言語文化科目**を選択し、1年次に基礎外国語の単位を修得できなかった場合、2年次で履修できる国際言語文化科目の科目は、何ですか？

A. 当該外国語の基礎科目を修得していないと、中級外国語科目は履修できませんが、それ以外の科目はすべて1年次後期から履修できます。

Q7. **導入基礎科目**は何単位まで、**国際言語文化科目**の枠内で認められますか？

A. **国際言語文化科目**の全コースにおいて、1科目(2単位)が必修で、最大3科目(6単位)まで各コースの枠内で認められます。

#### **主として、国際文化コース（Aコース）に関する質問**

Q8. **国際文化コース（Aコース）**を選択した場合、**中級英語**は履修できますか？

A. もちろん、できます。中級英語は、学部の「専門教育科目」として認定されます。何単位までが、専門教育科目として認定されるかは、学部・学科によって異なりますので、履修要項を参照してください。

Q9. **国際文化コース（Aコース）**では、「**国際理解**」「**言語と文化**」をそれぞれ1科目履修することになっていますが、もし必修の専門科目と時間帯が重なった場合は、どうすればいいのでしょうか？

A. 「国際理解」「言語と文化」は、卒業までに各1科目（2単位）修得できれば大丈夫です。専門科目と時間帯が重なった場合は専門科目を優先し、「国際理解」「言語と文化」は次年度等に履修してください。

#### **主として、国際コミュニケーションコース（Bコース）に関する質問**

Q10. **国際コミュニケーションコース（Bコース）、インテンシブコース（C-1・C-2コース）**を選択した場合、「**言語と文化**」は履修できますか？

- A. 国際文化コース（Aコース）以外の学生が、「言語と文化」を履修することは、原則として可能です。他コース科目の登録として特別な手続きが必要となります。履修ガイドブック 2021 の 33 ページを確認してください。なお、Bコース、C-1・C-2コースの学生は、「言語と文化」の単位を修得しても、卒業に必要な単位としては換算されません。

### 主として、**インテンシブコース（C-1コース、C-2コース）**に関する質問

**Q11. 「留学のための英語集中コース」(留P)に入っていますが、英語インテンシブコース(C-2)を選択しなければいけないのでしょうか？**

- A. 留Pのクラスに入っている人でも、C-2コース以外のコースを選ぶことはできます。ただ、C-2コースには定員があるため、留Pのクラスの人でC-2コースを希望する人を優先してC-2コースに登録できるように配慮しています。留Pの人でも、C-2コース以外のコースを選ぶことも、基礎共通科目を選ぶことも可能です。ただ、英語の力を継続して伸ばしたい場合は、留PのC-2コースを選ぶことをお勧めします。

**Q12. 英語インテンシブコース(C-2コース)では、留Pのクラスの「中級英語」と、一般の「中級英語」とはクラスが異なるのでしょうか？**

- A. 留Pのクラスの人で、「College English」3科目の単位を、1年次前期に修得できた人は、留Pクラスの「中級英語」を1年次後期から履修できます。しかし、College Englishの単位が1科目でも未修得となったり、「College English」3科目全ての成績が「可」となった場合は、C-2コースに入っても、留Pクラスの「中級英語」のクラスに登録することはできません。「College English」3科目の単位未修得でも受講できる科目（English Regions, 国際理解, 導入共通科目）を履修してください。

**Q13. 留Pクラスにいて、英語インテンシブコース(C-2コース)を希望していますが、前期に**導入基礎科目**を2科目登録しています。単位制限にひっかかりますか？**

- A. 文系学部では、**1年次での「国際言語文化科目または基礎共通科目」の単位は8単位までと定められています**ので、Bコース及びC-2コースの学生で導入科目を前期に履修した人は、1年次後期に留Pクラス用の「中級英語」を1科目（4単位）しか登録できません。残りの科目は、2年次で登録してください。一般の「中級英語」クラスでも大丈夫です。

\*なお、留Pのクラスの人用の「中級英語」は2年生の前期で終了します。次の学年の人用のクラスに入ることはできません。

**Q14. 留Pクラスにいますが、取りたい科目があるため、Bコースの国際コミュニケーションコースを希望しています。留Pの「中級英語」を継続して受講できますか？**

- A. 「College English」3科目の単位を修得すれば、Bコースや他のコースを選択しても、留Pの「中級英語」を履修できます。ただし、Bコース、C-2コースの学生が導入共通科目を前期に登録した場合、あるいは、後期に登録する場合は、「中級英語」2科目ではなく、1科目となるでしょう。1年次で登録できる国際言語文化科目の最大単位数が8単位だからです。

**Q15. 英語インテンシブコース（C-2コース）の抽選にもれた場合には、基礎共通科目に変更したいのですが、可能でしょうか？**

- A. 変更はできません。まず、「国際言語文化科目」か「基礎共通科目」かを決めてから、次に、コースを選択します。「国際言語文化科目」では、C-2コースにのみ定員があります。C-2コースの抽選にもれた場合は、「国際言語文化科目」の第2希望のコースとなりますので、第2希望のコースも慎重に選んでください。

**Q16. 英語インテンシブコース（C-2コース）を選択した場合、第2外国語の中級科目は履修できますか？**

- A. もちろん、できます。第2外国語の中級科目の何単位までが、学部の「専門教育科目」として認められるかは、学部・学科によって異なりますので、履修要項を参照してください。

**\* 分かりやすい学部別の一覧表**を最後のページに提示しますので、参考にしてください。

### **主として、基礎共通科目との関連での質問**

**Q17. 基礎共通科目を選択した場合でも、中級外国語科目（英語、第2外国語）は履修できますか？**

- A. できます。中級外国語科目（英語、第2外国語）の何単位までが、学部の「専門教育科目」として認められるかは、学部・学科によって異なりますので、履修要項を参照してください。ただし、中級外国語（英語、第2外国語）の履修登録については、国際言語文化科目を選択した学生が、優先されます。

**\* 分かりやすい学部別の一覧表**を最後のページに提示しますので、参考にしてください。

**Q18. 基礎共通科目を選択した場合、「言語と文化」や「国際理解」、「第3外国語のコミュニケーション科目」「外国語総論」を履修できますか？**

- A. 「言語と文化」「国際理解A～D」「外国語総論」は、他コース科目の登録として特別な手続きをすれば、履修することができます。ただし、人数に制限のある科目「国際理解

English」「第3外国語のコミュニケーション科目」は履修することができません。  
 他コース科目の登録手続きについては、履修ガイドブック 2021の 33 ページを確認  
 してください。なお、基礎共通科目を選択している場合、上記の科目の単位は、卒業に  
 必要な単位として換算されません。

2021年6月

**中級・上級の外国語科目は、専門教育科目として、卒業単位に認められる！(国際言語文化科目として認定される科目を除く)**

各学部の中級・上級の外国語科目の取扱いです。※多少の変更が生じる場合もあるため、各自、履修要項で詳細を確認してください。  
 2021年度入学生用

学 部	学 科	自由選択科目として卒業単位に含めることができるもの
文学部	日本語日本文学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語 16単位以内 海外語学講座・留学支援科目 8単位以内 エリアスタディーズは他の関連科目と合わせて 16単位以内
	英語英米文学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語 16単位以内 海外語学講座・留学支援科目 8単位以内 エリアスタディーズは他の関連科目と合わせて 16単位以内
	社会学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語 16単位以内 海外語学講座・留学支援科目 8単位以内 エリアスタディーズは他の関連科目と合わせて 10単位以内
	人間科学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語 16単位以内 海外語学講座・留学支援科目 8単位以内 エリアスタディーズは他の関連科目と合わせて 10単位以内
	歴史文化学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語 16単位以内 海外語学講座・留学支援科目 8単位以内 エリアスタディーズは他の関連科目と合わせて 16単位以内
理工学部	物理学科	中級英語・海外語学講座Ⅰ・エリアスタディーズ 8単位以内
	生物学科	中級英語・上級英語・海外語学講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 16単位以内 エリアスタディーズ 2単位以内
	機能分子化学科	エリアスタディーズ 2単位以内
経済学部	経済学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語 8単位以内 海外語学講座 8単位以内 エリアスタディーズ 2単位以内
法学部	法学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語・ 海外語学講座・留学支援科目 *上記科目併せて 16単位以内 エリアスタディーズ 2単位以内
経営学部	経営学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語・海外語学講座・留学支援科目 8単位以内 エリアスタディーズ 4単位以内
知能情報学部	知能情報学科	中級第2外国語・上級第2外国語・中級英語・上級英語・ 海外語学講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・エリアスタディーズ 上記科目併せて 8単位以内